

2025年11月7日

各位

豊橋浄水場再整備等事業における落札者に決定

株式会社 NJS

株式会社 NJS（東京都港区、代表取締役社長：村上雅亮）及び他 9 社が参画するグループ（代表企業：インフロニア・ホールディングス株式会社。以下、「当応募グループ」という。）は、愛知県が進めている「豊橋浄水場再整備等事業（以下、「本事業」）」に係る公募手続において、2025年11月7日に落札者として決定されました。

1967年に供用が開始された豊橋浄水場は、東三河地域の豊橋市、豊川市、新城市へ一日約8万 m^3 の給水を担い、地域の暮らしを支えてきましたが、供用開始から50年以上が経過しており、主要施設の老朽化が進行し、耐震化も必要な状況です。

県は、将来を見据えた施設整備を行うことを目的として、民間のノウハウや創意工夫を最大限に活用するため、再整備については、事業者が自らの提案を基に豊橋浄水場の再整備を行った後、県に豊橋浄水場の所有権を移転する方式（BT（BuildTransfer）方式）により実施し、再整備後の豊橋浄水場等の運営・維持管理等については、公共施設等運営事業による事業方式（以下、「コンセッション方式」）により、実施することとしました。これら二つの方式を一体とした「BT+コンセッション」方式の導入は水道事業において日本初であり、先進性のある取り組みです。

当社は水と環境のオペレーションカンパニーを目指し、戦略・計画の策定と事業運営の両面から上下水道事業の課題にソリューションを提案しています。本事業を通じ、コンサルタントとしての経験と技術と、当応募グループの構成企業各社が有する強みを最大限に活かすことで、次世代型浄水場の構築、カーボンニュートラルの実現、東三河市町村との連携の推進を果たし、持続可能で効率的な事業運営を目指して取り組んでまいります。

今後、愛知県との基本協定の締結準備を進めていく予定です。具体的な事業内容等につきましては、愛知県との協議を踏まえ適宜公表してまいります。

【提案概要】

当応募グループは、次に掲げる「AICHI モデル」を策定し、安定的な水の供給と、持続可能な財務管理の実現、無駄のない効率的な組織体制の実現を提案しています。

■ Aqua-infla（安全・安心な水基盤）

先進的水処理施設を採用し、安定した水処理と省スペースで大幅な工期短縮

■ Innovation（前例に捉われない先進技術の採用）

最先端の状態監視技術や IoT センサーを活用

■ Crisis management（強靱な基盤と体制の構築）

南海トラフ地震に耐えうる強靱な浄水場を構築

■ Hybrid Energy（水素利活用・カーボンニュートラルへの貢献）

未利用エネルギーにより生成した水素利活用の早期実現

■ Integration（上下水道一体で流域管理、東三河経済圏への貢献）

東三河地域につなげるプラットフォーム構築の支援

<次世代型浄水場のイメージパース>



【当応募グループの概要】

名称	あいちウォーターイノベーション
代表企業	インフロニア・ホールディングス株式会社
構成企業	株式会社東芝 株式会社エステム 株式会社 NJS 水道機工株式会社 株式会社サーラコーポレーション 株式会社フソウ 株式会社大場上下水道設計 神野建設株式会社 FCC Aqualia S.A.

【事業概要と今後のスケジュール】

事業期間	特定事業契約締結日の翌日から 2056 年 3 月 31 日まで (再整備期間：特定事業契約締結日の翌日から約 10 年) (運営期間：再整備期間終了の翌日から 2056 年 3 月 31 日まで)
事業範囲	【再整備期間・運営期間共通】 ・統括運營業務、関連施設業務、任意事業 【再整備期間】 ・豊橋浄水場再整備業務、豊橋浄水場運転管理業務、豊橋南部浄水場運転管理業務、場外管路維持管理業務 【運営期間】 豊橋浄水場運營業務、豊橋南部浄水場運營業務、場外管路運營業務
今後のスケジュール (予定)	2025 年 11 月 基本協定の締結 2025 年 12 月 特別目的会社との特定事業契約の締結

※本事業に関する詳細は、愛知県のホームページをご覧ください。

[豊橋浄水場再整備等事業について | 愛知県公式ウェブサイト \(plef.aichi.jp\)](http://plef.aichi.jp)

以上